

労働者権力の創出をめざして



シンポジウム

第一回

◇出席◇

- 大阪中電スト実
- 京大病院労研
- 東大技師共闘
- 東大病院反戦
- 畑鉄工反戦反行動委
- マスコミ反戦

◇司会◇

有田越郎氏
 (社会党東京都本部
 解雇撤回闘争委)

昨秋政治界の激変、十月の総選挙を経て、労働界も大きな変革がもたらされた。労働組合の組織率、活動の中心、意識の転換など、労働者権力の創出をめざして、本報主催の「シンポジウム」が、八月十日(日)午後二時から、本報大講堂で開かれた。司会を有田越郎氏が務め、約二百名の参加者で盛況のうちに終わった。

司会 有田越郎

「労働者権力の創出」というテーマは、労働界の現状を踏まえ、労働者自身が主体的に活動する能力を身につけることを目指す。労働組合の組織率の向上、活動の中心の転換、意識の転換など、労働者権力の創出をめざして、本報主催の「シンポジウム」が、八月十日(日)午後二時から、本報大講堂で開かれた。司会を有田越郎氏が務め、約二百名の参加者で盛況のうちに終わった。

進行する労働運動の右傾化

レッドパージの激化と共に



「労働運動の右傾化」といふのは、労働組合の活動が、労働者の利益を守るという本来の目的から、国家の安全や社会の安定を守るという目的へと転換してきていることを指す。この現象は、レッドパージの激化と共に進行している。労働組合の活動が、労働者の利益を守るという本来の目的から、国家の安全や社会の安定を守るという目的へと転換してきていることを指す。この現象は、レッドパージの激化と共に進行している。

各戦線より

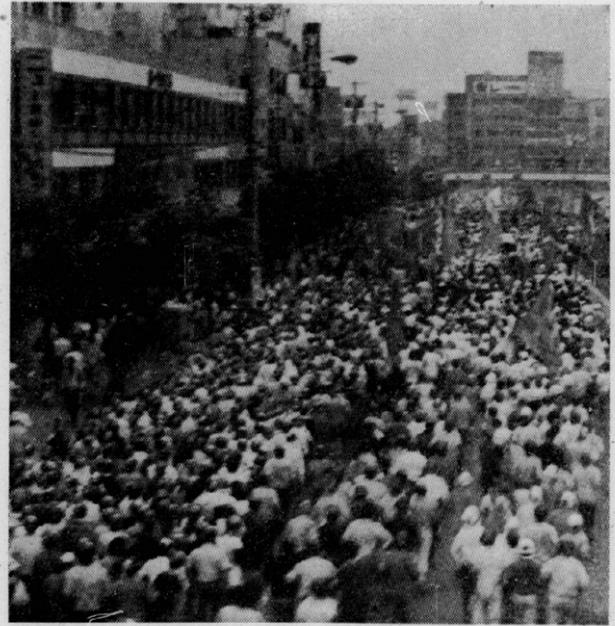
京大病院労研

京大病院労研は、八月十日(日)午後二時から、本報大講堂で開かれた「労働者権力の創出をめざして」シンポジウムに参加した。有田越郎氏の司会のもと、約二百名の参加者で盛況のうちに終わった。

新病棟移転阻止へ

差別医療構造の解体を

新病棟移転阻止の闘争は、差別医療構造の解体を求め、労働者の健康を守るための重要な活動である。労働組合は、この闘争を積極的に支援し、労働者の健康を守るための重要な活動である。労働組合は、この闘争を積極的に支援し、労働者の健康を守るための重要な活動である。



社告

『五〇〇号記念企画』

懸賞論文

テーマ コミュニズム

応募要項

- ▼枚数 五十枚程度(四百字詰)
- ▼締切り 九月十五日
- ▼発表 十二月上旬
- ▼賞金 入選 五万円
- ▼資格は問いません
- ▼選考 本紙編集部
- ▼審査顧問 阪上孝氏、池田浩士氏

懸賞小説

応募要項

- ▼枚数 五十枚程度
- ▼締切り 九月十五日
- ▼発表 十二月上旬
- ▼賞金 入選 五万円
- ▼資格は問いません
- ▼選考 本紙編集部
- ▼審査顧問 阪上孝氏、池田浩士氏

※なお、応募された原稿は、論文小説ともお返し
 いたしません。

宛先 京都市左京区吉田京都市大講堂内
 京都大学新聞社
 TEL 四一〇五四